

医薬品安全管理教育セミナー2014 春季

(日本語社会人教育プログラム)

－ 医薬品の有害作用とリスク対応 －

事前配布資料



期 間: 2014年5月10日(土)～11日(日)午前

会 場:

東京大学法文1号館25番講堂
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1

主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

受付開始 5 月 10 日午前 8 時
5 月 11 日午前 8 時 30 分

テキストならびに領収書は2014年5月10日朝の会場受付でお渡しします。

受講修了証は2014年5月11日午前12時30分以降に会場受付でお渡しします。

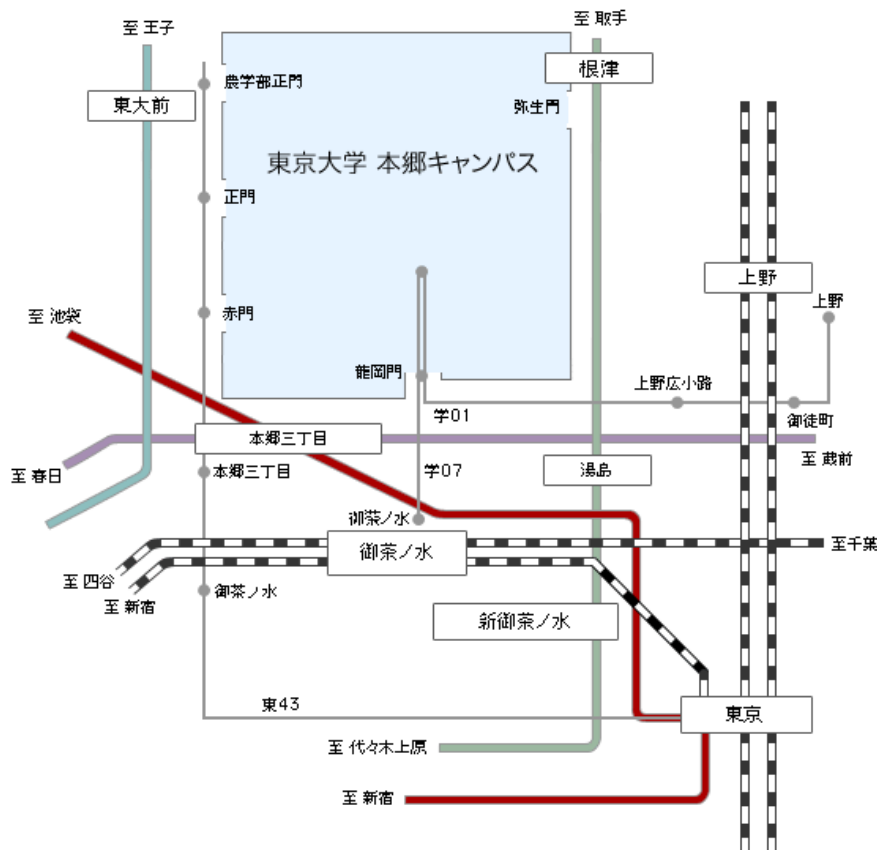
多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

受講対象者: 学会員、医薬品安全管理者、薬剤師、医師、助産師、看護師、医薬品製造・輸入・販売業者、その他

知的財産権所有者: 国際医療リスクマネジメント学会

本プログラムで使用了た資料は、参加費を徴収しない院内教育会の場合のみ、その資料を使用するは許可します。 その他の場合はご利用できません。違反は司法の対象となります

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2111(代表)



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

第 1 日目 2014 年 5 月 10 日(土)午前 9 時から午後 4 時

東京大学法文 1 号館 25 番講堂

受付開始 午前 8 時

午前 9 時 開演

午前 9 時～午前 12 時 (臨床講義) 医薬品の循環器系への重篤な有害作用

ー そのフィジカルアセスメント、バイタルサインおよび臨床検査値の読み方

石川 義弘 (横浜市立大学医学系大学院研究科循環制御学教授)

主旨: 医薬品の循環器系への重篤な有害作用を紹介し、それらに関する臨床診断の基本知識を解説されます。

午前 11 時 50 分～午後 1 時 昼食

午後 1 時～午後 1 時 50 分 (事例報告) 医薬品有害作用の情報管理と病棟での介入事例

ー 東大病院薬剤部の試み

本多 秀俊 (東京大学医学部附属病院薬剤部リスクマネージャー)

主旨: 医薬品有害作用に関する医療機関内部の情報管理について東大病院の事例を紹介する。

午後 1 時 50 分～午後 2 時 休憩

午後 2 時～午後 4 時 (臨床事例) 医薬品有害作用発生時における病棟での危機対応

- 病棟看護の成功事例

主旨: 病棟薬剤師の新たな任務として、患者における医薬品の有害作用時の対応がある。この業務を行ってきた看護師の成功事例を紹介する。(1 口演 30 分)

山花 令子 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学分野)

峰村 尚子 (太田総合病院医療安全管理部)

土屋 和子 (久里浜クリニック看護課長、医療安全担当課長)

総合討論

1 日目 閉会

第 2 日目 2014 年 5 月 11 日(日)午前 9 時～12 時 30 分

東京大学法文 1 号館 25 番講堂

入場開始: 午前 8 時 30 分

午前 9 時～午前 9 時 50 分 (病棟薬剤講義)

臨床現場に存在する医薬品の有害作用モニターをどう進めるか

橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長、院長補佐)

主旨: 臨床現場で医薬品有害作用をモニターする一元的なシステムの構築方法を解説する。

午前 9 時 50 分～午前 10 時 休憩

午前 10 時～午前 12 時 30 分 パネルディスカッション

「医薬品有害作用におけるパイルサインの多職種間での共有化」

主旨: 院内の多職種間で患者から収集可能な医薬品有害作用を互いに共有する効果的な方法を解明する。

座長 秋下雅弘、橋田亨

午前 10 時～午前 10 時 50 分 (臨床講義)

高齢者の投薬における注意すべき有害作用とその医師-薬剤師-看護師の連携のあり方

秋下 雅弘 (東大病院老人病科教授)

(追加報告)

午前 11 時～午前 11 時 25 分

島崎 信夫

薬剤師の立場から

国際親善総合病院医療安全管理者

午前 11 時 30 分～午前 11 時 55 分

看護師の立場から

新村 美佐香

菊名記念病院医療安全管理室長

午前 12 時～午前 12 時 30 分

総合討論

午前 12 時 30 分 全体閉会